

➤ 魚沼市は天然林の割合が多いとともに、天然林、人工林ともに9齢級（45年生）以上の比較的高齢の林が多くを占めるため、森林の多面的機能を維持するために森林整備を計画的に進めて、木質資源を有効に活用していくことが必要です。持続可能な森林保全と当市の林業振興を実現するためにも、森林環境譲与税を有効に活用していきます。

## 1 事業内容

### ① 森林整備事業

私有林人工林において間伐を実施して森林整備を行いました。

【事業費】1,124千円（うち譲与税1,124千円）

【実績】池平地区間伐業務委託（1.55ha）

### ② 木材活用事業

市産材（ブナ材・杉材）を活用した木製什器及び木製玩具を制作して市内公共施設に配置しました。

【事業費】3,799千円（うち譲与税3,799千円）  
（譲与税は、備品購入に係る部分に充当）

【実績】市産材什器12件：幼児用階段、多目的ひな壇、演台2  
テーブル・イス、丸テーブル、スツール2、  
ベンチ兼テーブル2、ステージ階段、書見台  
市産材玩具1件：積み木セットを設置

### ③ 林道整備事業

林業専用道品木沢線を開設するために全体計画作成等を実施しました。

【事業費】3,740千円（うち譲与税3,740千円）

【実績】林業専用道品木沢線路線全体計画調査業務委託（L=1.2km）

令和4年度森林環境譲与税額	対象事業合計額	残額
17,842千円	8,663千円	9,179千円

残額の9,179千円は、森林環境整備基金に積立を行い、翌年度以降の森林整備や林道整備、木材活用等に活用していきます。

## □ 2 事業実施の様子（木材活用事業より一部抜粋）



（魚沼市産ブナ材スツール）



（魚沼市産杉材演台）



（魚沼市産杉材多目的ひな壇）

## 3 取組の効果

- ①私有林人工林の整備を行い、適正な森林の育成管理を行いました。
- ②市民が市産材に触れる機会を増やし、市産材活用への理解を醸成することができました。市内木材関係者の連携を深めるとともに、商品開発に向けた素地を固めることができました。
- ③林業専用道品木沢線の開設に向けた全体計画等が完了しました。

### ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：17,842千円	②私有林人工林面積（※1）：2,075ha	
③林野率（※1）：83.3%	④人口（※2）：34,483人	⑤林業就業者数（※2）：43人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より